

けやき共
同作業所

就労継続支援 B 型 定員 40 名

コロナの拡大により、イベントなどの行事が自粛されお弁当の注文にも影響がありました。そのような中、二週間分のメニュー表を新規のお客様にもお渡しし、「うちの弁当美味しいので一度食べてみて下さい。」と声を掛けたり、Instagramに当日の弁当の写真をあげたりしてきました。そのおかげで新しいお客様が増えてきています。また、令和二年度には軽作業用の二号棟が完成し、より良い環境のもと輪ゴムの箱詰め、製袋、ホースワイヤー組み立て作業を行っています。利用者さんと職員が声を掛け合いながら、丁寧な製品作りを行っています。その中で信頼関係が生まれ、利用者さんが安心して作業できる事により利用日数が増えています。



工房け
やき

就労継続支援 B 型 定員 20 名

工房けやきはお惣菜の店です。現在、知的・精神の障がいを持った 20 名近くの利用者さんが通所しており、仕事は店番や仕込み、お弁当づくりなどがあります。利用者さんのそれぞれの特性を活かしながら作業を分担して行っています。利用者さんは、それぞれ調子が良い日や悪い日があります。例えば、昨日出来ていたことが今日出来なくなる、量り間違える、雑になる、返事がないなどがあります。そういう時、職員は様子を伺ったり、声かけ見守りなど心がけています。また、得意なことや上手に出来た時は、みんなで褒めます。仕事が終わると、職員に話かけてくる利用者さんや、また職員から話かけられて嬉しそうに答える利用者さんがみられます。そういうみんなを見ていると働くだけではなく、こういうコミュニケーションを持つことも大切だと気づかされます。「また明日ね」と言って笑顔で見送る、そんな毎日を送っています。職員は業務に追われがちですが、仕事を通し利用者さんと一緒になって考え働くことで満足感や自信につながるよう、また仲間と一緒に働くことの楽しさを感じられる、そういった事業所でありたいと思っています。

あとりえ
北山

就労継続支援 B 型 定員 18 名

あとりえ北山では、一日約 22 名が通所し、お菓子作りや軽作業に取り組んでいます。自分たちで作ったお菓子が外販で売れる喜び、また、他の事業所の皆さんに会えるのを楽しみにしている利用者さんもいます。杜のどーなつ共々、新商品の開発にも取り組んでいますので、外販で立ち寄った際には、よろしく願いいたします。



作業風景



杜のど
ーなつ

就労継続支援 B 型 定員 10 名

今年の 2 月にはパウンドケーキとココアとくるみのケーキ、11 月にはフィナンシェと新商品を開発、発売し、日々売り上げを伸ばそうと利用者さんと職員一丸となって菓子製造をしています。また今年は外部イベントへの出品や保育所へのおやつの配達など、新規顧客を獲得するため営業活動を行ったり、Instagramを開設し情報を配信したり、杜のどーなつを広げるための活動を積極的に行いました。来年もおいしいお菓子を製造するため、利用者さんと一緒に日々、精進していきたいと思っています。



**のんびり
ハウス**

放課後等デイサービス 定員 10 名

今年度より運営をすることになりました放課後デイサービス「のんびりハウス」は小学1年生から高校3年生までの障がいのあるお子さんのための通所事業所として、将来、子供達が笑顔で生活していけるように1人1人の子供達を考え職員が様々なプログラムを組んで支援しております。子供達全員で活動するプログラムでは職員と工作をする時間もあれば天気の良い日は、公園で元気に活動することもあります。子供達が「のんびりハウス」で元気に過ごし笑顔でご自宅に戻ることも含め安心してご利用できるよう職員一同頑張っております。



**グリーンアップ
ルズホーム**

共同生活援助 定員 24 名(北目 5 名、塩屋崎 19 名)



GH 食事風景

コロナの蔓延防止が発令され、GHでは緊張感が高まりました。昨年からは、ホーム内の整備に追われました。送迎バスから帰って来る利用者さんに「手洗い、うがいをお願いします！」と日々声かけする事で、以前より体調を崩す方がかなり減りました。又GHでは高齢化が進んでおり65歳問題と言う障害福祉サービスから介護優先と言う現実には直面しています。健康で身の周りの事が出来るのがこれまでの生活を維持するカギとなります。現在、入居者は北目4名塩屋崎10名の14名となっています。

コロナ対策で一部確保された部屋を除くと4部屋の空きがありますが状況が落ち着けば順次見学や体験など考慮してゆく予定です。

**ふれんず
北山**

生活訓練 定員 6 名

ふれんず北山では、毎月、利用者さん達が話し合って決めたプログラムで活動しています。

調理実習やショッピングなどの日常生活の訓練に資するものはもちろん、図書館や美術館など、社会資源を活用しての外出、また、散歩などを通して体力づくりなども行っています。

自立するためには、「何かをしたい」という意欲を持つことが大切です。私たちは、プログラムを通して、利用者さん達が少しずつでいいから、自発的に何かをしたいと思ってくれる事を手助けしています。

**スペース
けやき**

地域活動支援センター

地域活動支援センター「スペースけやき」はいわき市から委託を受けて、障がいのある方々の地域生活促進を図ることを目的として運営されています。

現在、1日12名程の方が利用しています。利用者の皆さんは、午前はアイロンビーズやジグソーパズル等の創作活動、レクリエーションやお茶会等の交流活動、野菜作りや収穫等の作業活動、散歩や料理、パソコン等の学びあい活動などのプログラムを楽しんでいます。午後は、散歩や人生ゲーム、トランプ、テレビなどそれぞれに好きな事をして過ごしています。施設周囲の草むしりを一手に引き受けてくれる利用者さんもいます。感謝です。コロナ禍で外出がままならない中ではありますが、人流の少ない野外や文化施設などに出かけています。とにかく1日楽しく過ごして欲しいをモットーに職員も利用者さんと一緒に楽しんでいます。誰でも大歓迎。ぜひ遊びに来てください。

**いわき市の事業所の紹介と近況報告でした。
次回は榎葉町の事業所をご紹介します。**